

一 般 質 問 通 告 書

令和 5 年 2 月 13 日

前
午 10 時 08 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 5 年 2 月 13 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 瀧本幸夫

(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	市内農業の持続的な発展について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市内農業の持続的な発展について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>現在のマスコミ報道や社会情勢を見ると自国以外の戦争やコロナウイルス感染により、物価の高騰が社会生活を圧迫しています。我が国のように資源を持たぬ国は知恵と工夫を発揮して難局を乗り切っていくてはなりません。特に農業分野では食料自給率を向上させる手立てを実行に結び付けて現状のカロリーベースで38%という最悪の状況を打開していく為には何をすべきかを考え国・県・市町村に至るまで、農業の生産性向上を考えて食料自給率を上げていく事を実施し困難を乗り越えていかねばなりません。</p> <p>しかしながら、近年は高齢化や担い手不足に加え生産コストの増加などにより離農する農業者が増加しており、湖西市においても同様の状況であります。</p> <p>このような状況の中、市内農業を持続的に発展していくためには、担い手不足の解消とともに、農業をしやすい環境を整備していかなければなりません。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>市内農業が持続的に発展していくための施策について、現状と課題、今後に向けての取組みを伺う。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 担い手の確保について、認定農業の増加に向けた取組み（若手農業者への認定取得支援、認定新規就農者の支援、広域認定農業者への斡旋）の状況と成果を伺う。 2. 農地バンク事業による農地集積の目標に対する達成状況と今後の展開を伺う。 3. 農業振興ビジョンに掲げられている市内農業の持続的な発展に向けた4つの取組み（1. スマート農業の推進、2. ブランド化、3. 畜産振興、4. 地産地消）の状況を伺う。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和5年 2月 13日

前
午 10時 35分 受付
後

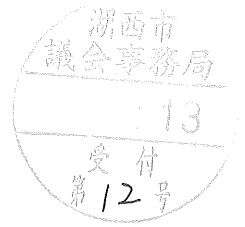
下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年 2月 13日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 佐原佳美

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	一問一答 一括の質問答弁
番号	主 題
1	ヤングケアラー支援の現状と計画について
2	妊娠期から出産・子育てまでの伴走型相談支援を重層化する 「マイ保育園」登録制度導入について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	ヤングケアラー支援の現状と計画について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>私は、2021 (R3) 年 6 月定例会で「ヤングケアラーの支援について」一般質問しました。それは、その年に「社会的孤立」と思われる事例についてのアンケート調査を市内の福祉関係者に実施した回答の中に、不在がちな親に代わり 18 歳以下の上の子が幼稚園児の下の子の世話をしている事例があったからです。数年前から新聞で目にしていた「ヤングケアラー」ですが、当市にも存在したのだとショックを受け、支援に取り組まなければと質問に至りました。</p> <p>当時、まだ「ヤングケアラー」という言葉に馴染みがなく、担当部局との打合せでも言葉の説明からしましたが、厚労省、文科省では、其々の当時の副大臣一名ずつを共同議長として「ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム」を発足させ、2020 年 12 月～2021 年 1 月に全国の公立中学校、全日制高校の一部の 2 年生にインターネットでアンケート調査を実施し、中学生がおおよそ 17 人に 1 人、高校生で 24 人に 1 人、クラスで 1 人～2 人存在する結果を 5 月に公表していました。</p> <p>私の一般質問への答弁要旨は「実態把握については、子どもの環境福祉に関する相談が平成 22 年～令和 2 年の 10 年間で約 4 倍になっている。市内のヤングケアラーの実態調査は、文科省等から依頼があれば実施する。教職員の認知度アップは、スクールソーシャルワーカーによる研修や国からリーフレット等が届くようにてそれを活用していく。ヤングケアラーを早期発見する目を関係者で磨き、支援の内容等は、国が示す内容を踏まえて研修会等計画していく」でした。</p> <p>そして、先のプロジェクトチームが社会的認知度向上の<u>集中取組期間</u>とし、中高生の認知度 5 割を目指すと公表しているのが、今年度から 2024 年度です。2 月に新聞報道された浜松市や静岡県の新年度予算案の記事には「ヤングケアラーの相談体制の充実を図る、ヘルパーの派遣などをスタートさせる」「各市町が把握するヤングケアラーへの個別の支援策に助言する人員を配置」の文字がありました。これらを目の当たりにして、当市の支援の経過と計画を確認したいと思いました。</p>	

(質問の目的)

ヤングケアラーの早期発見と適切な相談・支援体制を構築し、子どもの望む生活が送れる環境を保障して欲しい。

(質問事項)

1. ヤングケアラーの発見、相談支援の推移は。

2. 静岡県が 2021 年 11 月～2022 年 2 月にかけて、小学 5.6 年生と全中高生を対象に学校を通じてヤングケアラーのアンケートを実施し、23 万 5,458 人から回答を得て、10,782 人が家族のケアをしている、22 人に 1 人いることが分かったが、湖西市の状況は把握できたか。

3. 2021 年 6 月の議会質問や県の調査結果以降、実施したヤングケアラーへの支援内容は。
 - 3-1. 教育委員会は。

 - 3-2. 子ども家庭課は。

 - 3-3. 支援内容で関係部局の連携は如何であったか。課題は。

4. 今後のヤングケアラーへの支援計画は。

5. 豊橋市のように「ヤングケアラー支援宣言」を行い子どもが望むサポートを目指す考えは如何か。

番号	主 題
2	妊娠期から出産・子育てまでの伴走型相談支援を重層化する 「マイ保育園」登録制度導入について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>私は、昨年(2019年)の12月定例会で『妊娠期から出産・子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援』の湖西市版制度設計について一般質問しました。</p> <p>この事業は、昨年(2019年)の11月上旬に厚労省より事務連絡があり、今年度中に経済的支援を実施との内容で、タイトな準備期間中の拙速な質問でしたが、母子への経済的支援(10万円)の使用用途：メニューに「家事・育児支援のヘルパー派遣」を利用できるように提案したところ、2月、当市の新年度予算案の新聞記事に「妊娠時のホームヘルパー補助」の項目があり、早期事業化に感激しました。</p> <p>今後、更なる経済的支援の活用メニュー：サービスが事業化され、充実することを願っています。</p> <p>そして、経済的支援とセットの妊娠期から出産・子育て期までの伴走型相談支援についても充実して頂きたい、12月の議会質問で提案できなかった、他市町の相談支援体制を紹介して導入の検討を願いたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>子育てが「孤育て」にならない支援制度の拡充を図って欲しい。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 伴走型相談支援事業は、妊娠届け出時(母子手帳交付時)、妊娠8カ月時、出生届出時、赤ちゃん訪問の生後1~2カ月辺りに保健師や助産師と父母が面談をすることになっているが、当市では、保健師が従来の母子保健事業で地区担当制なので、居住地区で伴走する保健師が決まるとの説明が12月の質問時あった。人員不足であれば、子ども家庭課の事務職員を担当させることも可能と国が示しているとも言われていたが、現在もその方針か。</p>	

2. 12月の質問時、伴走型相談支援に並走型で保育園、こども園等の保育士や助産師等も研修を受けるなどして、伴走型相談支援に当たる（委託する）のは如何か。に対して「検討する」との答弁でした。

他自治体では、妊娠期から身近な保育園を「かかりつけ園」として登録し、相談支援を受ける「マイ保育園登録制度」がある。導入を検討願いたいが如何か。

* 「マイ保育園登録制度」とは。

保育園や幼稚園などに通っていない未就園児を育てる家庭は、育児不安を抱えやすい。子育て家庭の孤立を防ぐため、石川県では、3歳未満の親子を対象に2005年よりほぼ全市町で「マイ保育園登録制度」を実施している。東京都江東区でも2011年より開始。いずれも、登録すれば入園していなくても園に足を運ぶことが出来、保育士や栄養士、看護師らに相談に応じてもらえ、園の行事にも参加できる。石川県の事業では、一時預かり半日無料券（県と市町が1/2ずつ負担）が3枚支給され、保育士の中から養成したコーディネーターが適切な保育サービスを計画的かつ継続的に利用できるように各家庭に合った「支援プラン」の作成をし、その過程で親子が抱える問題を発見し、対処することが出来ている。

3. これまで「公的扶助」の社会福祉制度の中では、受給者は、選択権を持ちにくい存在であったが、契約制度の介護保険制度では、ケアマネージャーやサービス事業所を利用者が選べるように変わった。子育て相談支援に於いても相談先を選べる制度にすべきではないか。

※質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和5年 2月 20日

前

午後0時46分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年 2月 20日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

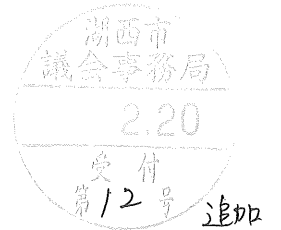
湖西市議会議員 佐原佳美



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 <input type="radio"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
3	施政方針について

※ 質問の要旨は別紙参照



番号	主 題
3	施政方針について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>市長の施政方針演説を拝聴し、今一步、詳細内容を確認したい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>市民の福祉の向上をニーズに即して推進して欲しい。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. (4つの柱)の1つ目の「安全・安心、医療福祉」で「助産師外来や看護学校の湖西市枠の創設といった、地域医療の充実に繋がる連携を具体的に推進して参ります。」とのことだが、</p> <p>1-1「助産師外来」と「看護学校の湖西市枠」について、<u>それぞれの説明を願いたい。</u></p> <p>1-2「助産師外来」で<u>産前産後ケアの日帰りデイケアを実施する予定は如何か。</u></p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和5年2月13日

前
午11時40分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年 2月13日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 福永桂子
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 一括の質問答弁
番号	主 題
1	学校統廃合の議論について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	学校統廃合の議論について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>今年2月2日に開催された湖西市総合教育会議を傍聴致しました。その会議で話し合われた、特に協議事項(2)これからの小学校中学校についての議論に対して、万人が共感する部分と住民の意見が反映されていないのではと思われる部分もあり、その議論の在り方に不安を感じています。</p> <p>教育はその国の将来を導く重要なものです。子どもたちのためにも安易な対応をするのではなく、きちんと熟慮した議論を踏まえて考えていくべきは明らかです。また、地域にとって小中学校とは心の支えとなる拠点です。その在り方についても地域を巻き込んだ議論が求められます。</p> <p>令和4年12月定例会において私は「これからの小中学校の規模及び配置について」お聞きしました。</p> <p>湖西市が目指す将来の学校の在り方が、まずは統廃合ありきから議論されています。人数が少ない小学校を存続させると言う選択と集中が行われず、工夫もなされていないように見受けられます。実際、全校生徒50名前後で小学校を存続させている近隣市町村もあります。</p> <p>また学校統廃合問題がまちづくりと深く関係しているにもかかわらず、それについて議論がなされていません。</p> <p>本来は湖西市ではどのような教育を目指し、地域との連携などをどうしていくのかの議論があつてしかるべきです。特に色々な方、各世代の意見をきちんと聞くことが必要だと思います。</p> <p>その地域には過去の歴史や風土といった背景があり、教育や地域の在り方も変化しています。</p> <p>湖西市には湖西市の教育や地域の在り方があるはずで。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>上記を明らかにするために、まずは、湖西市総合教育会議で示された意見、話し合われた事項の幾つかについて、市はどのように受け止めてど</p>	

う対応するのかをお聞きし、湖西市が目指す将来の学校の在り方についてお聞きします。

(質問事項)

1. クラス替えができなくて、人間関係に問題が生じた場合の児童・生徒や保護者の負担が大きいのではという意見を、どのように受け止め今後につなげていかれるかをお聞きします。
2. 諸事情を鑑みれば、これからの小学校中学校をどうするかについては、市長の早急な決断が必要という旨の声があがりましたが、それについてどのように考え対応されるおつもりですか。
3. これからの小学校中学校については、当事者の全保護者を対象にアンケートをする旨の声があがりましたが、それについてどのように考え対処されるのかをお聞きします。
4. 子供が湖西市にUターンしてくれるには、家族や同級生の存在、土地に対する愛情や地域愛を育む教育も必要だとの指摘も出ましたが、それについてどの様に考え、これからの小学校中学校の在り方にどう反映されるおつもりですか。
5. 教育問題と地域問題、まちづくりは分けて考えるべきではというような意見についてどのように考えておられるのかをお聞かせ下さい。
6. 市側から、人口減少は止まらないと予測されるから統廃合が必要になってくると言うような発言がありましたが、その真意をお聞きします。
7. 湖西市の新たな学校教育を展開するためには、具体的な事業に落とし込み実現させるための、財源の手当についてはどのように計画されていますか。
8. 地域と学校の在り方を踏まえ、地域のシンボルである小学校がなくなることによる、地域コミュニティのこれからのを、どう考えるのかお聞きします。

一 般 質 問 通 告 書

令和 5 年 2 月 13 日

前
午 11 時 56 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 2 月 13 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 中村 博行^印
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 <input type="radio"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
1	PFI 事業方式について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	PFI 事業方式について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市ごみ処理施設再稼働が PFI 事業として実施されているが、最近焼却後の灰の処分する場所とそこから出る汚水の処理場の改築について PFI 事業とは別に実施されています。また、給食センターも PFI 事業として行われようとしています。市民へのサービスは充分満たされると感じますが、費用の面がわかりにくく高い費用を払う結果になっていないか心配しています。</p> <p>そんな中 YouTube で“PFI”と検索していたら、現職の国会議員が「PFI 方式が始まったがイギリスではやめる方向だ。理由は公の方が安価にできることが解ったからだ」と言っています。余計に心配になりました。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>PFI 方式の再確認のため、また市民の高い買い物にならないようにするため伺います。</p> <p>(質問事項)</p> <p>“PFI 方式”は、民間の資金・ノウハウを活用して事業を行う方法だと理解していますが</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校給食センター整備・運営事業について、“民間の資金の活用”をどのようにして行うか伺います。 2. 学校給食センター整備・運営事業について“民間のノウハウの活用”をどのようにして行うか伺います。 3. 市が P F I を利用することにより、結果的に市民に高い費用負担が生ずることになることも懸念されます。P F I 方式により自治体が民間にまかせっきりにしてしまわないか、費用面で見えない部分が生じたり、ノウハウが市に残らないなどの問題がないか、民間事業者の事業からの撤退などのリスクについて市の考えを伺います。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書


令和 5 年 2 月 13 日

前
午 11 時 58 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 5 年 2 月 13 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 吉田建二 
(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	移住定住施策の更なる推進に向けて
2	「こども施策に関する計画」の策定に向けて

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	移住定住施策の更なる推進に向けて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>当市のこれからの街づくりを推進する基本となる方針を定めたのが「都市計画マスタープラン」であります。</p> <p>このマスタープランの役割は、将来目指すべきまちの姿と、市民や行政との連携の在り方や実現方策などを示した、まちづくりのガイドラインとして活用されるものとしています。</p> <p>働く場所と暮らす場所が近い職住近接の生活は、通勤時間が少なく生活がしやすいため、多くの人に望まれる魅力ある生活スタイルと言えます。特に近年、働く場所が増える情勢にあり、そこで新たに働く方が多く見込まれることから、ぜひ市内に住んでいただくよう、職住近接、移住定住施策を推進しなくてはなりません。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>都市計画マスタープランに基づく街づくりを基盤にして、移住定住施策を更に推進したい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在、職住近接を掲げ、移住定住施策を推進しているが、主な事業の令和4年度の状況と、これまでの成果を市ではどのように評価されているか。 2. 移住定住された方の居住地について、市街化区域と調整区域の割合はどのような状況ですか。 3. 湖西市に定住しようとして、住宅を建てる時、当初から湖西市に住もうと決めていたのか、又は定住奨励制度がきっかけなのかの割合はどのような状況ですか。又、建設の場所をどのような理由で決めたのかなど、建設に関する意識調査などをされていますか。 	

4. 移住定住者を増やすには、住宅が建設しやすい宅地を増やすことが重要です。そのため都市計画の市街化区域の見直し拡大が効果的であると考えますがいかがですか。

5. 北部、南部地区については、地区計画などを積極的に導入することにより住宅建設が増えれば、人口減少の抑制に繋がり効果的だと考えますがいかがですか。

番号	主 題
2	「こども施策に関する計画」の策定に向けて
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>静岡県では、「子どもを大事に」というメッセージを知事が出していますが、認定こども園での送迎バス 園児置き去り死亡事件や、保育園児の虐待事件があり、子供の安全をめぐる全国的なニュースとなり、現在、改善に向け取り組んでいます。</p> <p>国は、このような子供をめぐる問題解決、そして、子供の人権について見直そうと、4月1日から「こども家庭庁」を設置し、「こども基本法」を施行します。</p> <p>こうした社会事情を踏まえて、本市の次世代育成事業の推進に期待をいたします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>本市の次世代育成事業を大いに推進していただきたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所(園)、認定こども園などの送迎バスの安全対策、不適切保育の通報や相談窓口の設置状況などは、どのようになっていますか。 2. 「こども基本法」の施行に伴い、乳幼児期や学童期にある子どもの意見をどのように聴こうとしていますか。 3. 日本国憲法及び子どもの権利条約の精神を受け、全国では「こどもの権利条例」の制定をしている自治体もあります。今回「こども基本法」の施行により、本市における「こども施策に関する計画」作成の取り組み予定はいかがでしょうか。 	